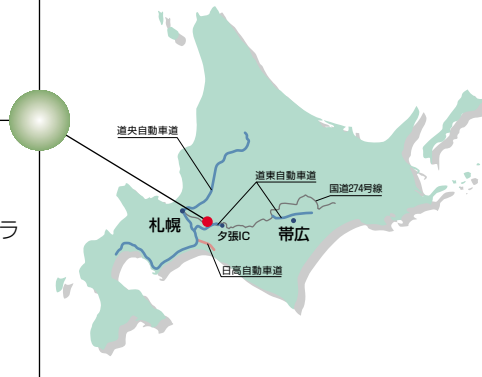


# 長 沼 町

長沼町  
 面積：168.36km<sup>2</sup>  
 人口：12,738人（平成15年10月1日現在）  
 町の花、木、鳥：ライラック（花）、エゾヤマザクラ（木）、カッコ（鳥）  
 町名の由来：細長き沼の意味  
 ホームページ：<http://www.maoi-net.jp/>



道の駅「マオイの丘公園」  
 支配人

上田 良治

## 農産物の直売所から始まったので、 とびきり新鮮な農家の自信作がズラリ

### 地場産品が揃い、町内限定品も扱う

国道274号（通称樹海ロード）沿いにある、長沼町の道の駅「マオイの丘公園」。センターハウス「美夕」は高さが国道にちなみ27.4メートルあり、ちょっとノッポな建物は国道を走っているとときは目立ちます。夜はガラスのピラミッドがライトアップされなかなか幻想的です。また名前の由来は一般公募によるもので「美しい夕陽」が見えることから。英語のview（眺め、眺望）にもかけています。あたり一面のどかな田園風景が楽しみ、ドライブの疲れを癒してくれそうです。

マオイとはアイヌ語で「ハマナスの実のあるところ」という意味で、きっと昔はこのあたりにたくさんのハマナスが咲いていたのでしょう。1993年、小学校跡地に「ながぬま特産物直売所」が開設され道の駅「マオイの丘公園」はその後、1997年にオープンしました。本来ならレストランや売店の入り口は道路に面するようにしますが、ここはその逆。直売所へ誘導できるよう入り口が道路に背を向けています。

ピーク時には1日1万人もの人が利用するという



ガラスのピラミッドが特徴の道の駅「マオイの丘公園」



近郊からたくさんの方が買物に訪れる直売所

この直売所ではさまざまな種類の野菜が売られています。例えば南幌町であればキャベツというように代表する作物がありますが、長沼町の場合は稲作や酪農をはじめ野菜の種類も多種多様で、バラエティに富んでいるのが特徴です。

「朝もぎ」はその名の通り、朝、畑からもいできたもので鮮度バツグン！お客さんが多い時は店頭から無くなると、また畑からもってくることもあるそうです。とにかく新鮮なものが手に入り、しかも販売はそれらの作物を作った農家の方々。「顔が見える」安心感があり、リピーターが多いというのうなずけます。消費者と接点を持ち農業経営に役立たいという長沼の農家の意気込みは、大きな成果を上げているようです。

レンガを使いサイロをイメージしたというセンターハウスの売店でも特産物が売られ、町で生産される無菌豚を使った肉まんが大人気。1個250円で寒い季節はもちろん、夏でもよく売れています。ふかす手間がかかるので1日300個程度の販売が限度なのですが、中には冷凍のまま買っていく人も。支配人の上田良治さんは「豚肉の旨みがギュッとつま



明るい雰囲気の「美タ」内部

ていて、1度食べるとまた食べたくなるおいしさです」と自信を持って薦めます。

町営の工場で作られる町内限定のトマトジュースとミックスジュースは「濃さが違う」と評判で、野菜本来の甘みが味わえる隠れた名品。もちろんこの界限では決してはずすことのできないソフトクリームもありジェラードタイプのさっぱりした口あたりは、年齢を問わず好まれています。

石狩平野を見渡すレストランには和洋各種メニューが揃い、地元の農産物を積極的に利用しています。もちろん長沼といえばジンギスカン。熱々の鉄板にジンギスカンが盛られた定食はボリュームもあり、上位人気メニューのひとつです。鍋でジュージュー焼きながら食べたいという方は「ながぬま温泉」の方へ。ここでは長沼の3種類のジンギスカンが食べられ販売もしています。

## パークゴルフのおかげで医療費が減少

長沼町にはパークゴルフ場が5カ所あります。道の駅「マオイの丘公園」をはじめ、舞鶴スポーツ公園、コミュニティ公園、長沼町運動公園、北長沼水郷公園。月曜から金曜の間は、このうちのどこか1カ所がお休みで、土曜と日曜は全てオープン。札幌など近隣からもたくさんのパークゴルフ愛好家が訪れ、各種大会も盛んに行われています。

医療費の増加はどこの自治体でも頭の痛い問題ですが、パークゴルフが町民に普及するようになってからは医療費が減少するようになったそうです。健康づくりはもちろん、友達づくりや生きがいづくりにもなり、パークゴルフの効果は見逃せません。いくつになってもイキイキ暮らすコツを、町の方々は楽しく実践しています。町民向けに年間券も発行されていて、「まわればまわるほど得」と熱心に通う人も多いか。施設ではレンタルも行っていましたが、最近ではもっぱら自分が愛用する用具を持ってくる人のほうが増えているそうです。

IT関係に力を入れているのも長沼町の特色のひとつで、各家庭にパソコンを配置する計画やIP電話の普及にも力を入れています。そんな背景もあり道の駅でもインターネットの端末が利用できるようになっていきます。

センターハウスのギャラリーでは町内のサークルやグループなどの作品が展示されています。また、長沼町は芸術家が多く住む町としても知られ都会の喧噪を離れ、豊かな自然のもとじっくりと作品づくりがなされているといいます。せっかくこうした人材がいるので、町内外の人たちにも創作活動に親しめる場を提供し、芸術・文化の面からも町を盛り上げていきたい。そんな考えもあるようです。

## 人気投票1位におごらず、よりいっそう魅力ある駅へ

さて、道内どここの道の駅にも共通する問題点が冬対策。「11月になってパークゴルフが終了すると、まるでそれまでのにぎわいがウソのようにびたっと人が来なくなります。雪が降る頃には観光のお客さんは274号をほとんど通らず、仕事で利用する車ばかりといっても過言ではないでしょう。吹雪くとそれはもう悲惨としかいいようがないですね。直売所のシャッターを降ろすと道の駅全体がやっぴいように見えるので、冬囲いをして一部営業するようにしています。夕張まで高速道路が伸びてから観光バスなどもずい分とあちらを通るようになり、少なからず影響が出ています。先日、読売新聞の人気投票で1位を獲得したとはいえますます魅力ある、特色のある道の駅にしなければと思っています」と上田支配人。

町の農産物や農産加工品を扱うフラッグショップとしての重要な役割を果たし、パークゴルフを通して健康づくりを応援する道の駅「マオイの丘公園」。おいしい出会いが待っているほっとなごむ空間づくりを目指し、文化面での充実も図っていききたいと夢はふくらみます。

